

調査概要

■調査対象

三条市在住の満 16 歳以上 3,000 名

■調査方法

紙面回答、インターネット回答

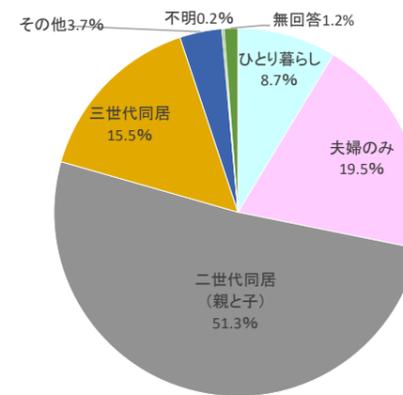
■調査期間

令和 6 年 10 月 4 日 (金) ~ 10 月 25 日 (金)

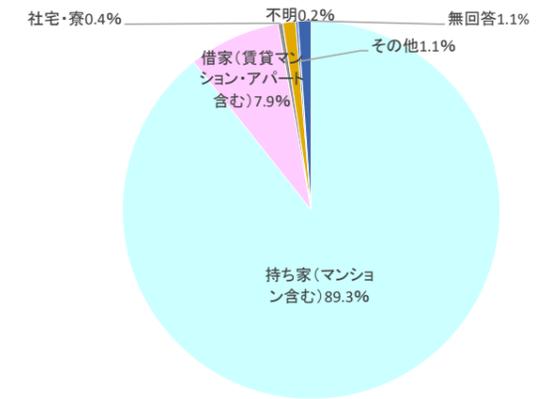
■配布数・回収率

配布数 : 3000 件 回収数 : 1177 件 回収率 : 39.2%

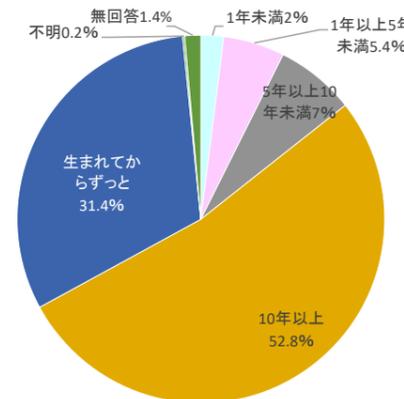
⑤家族構成



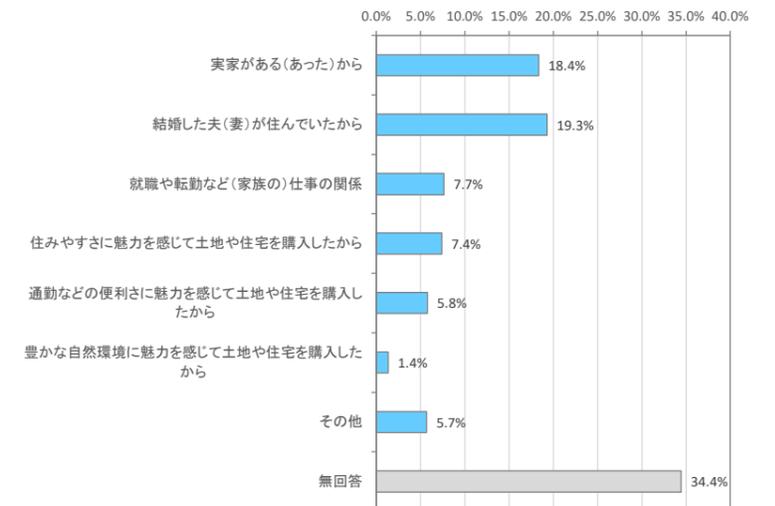
⑥住まいの状況



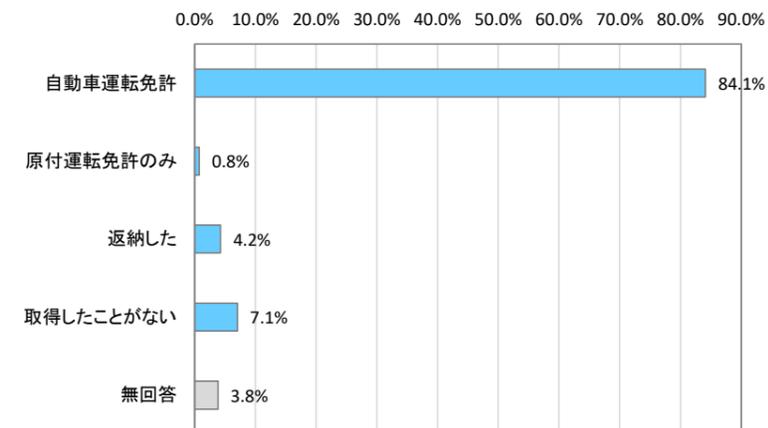
⑦居住年数



⑧居住理由



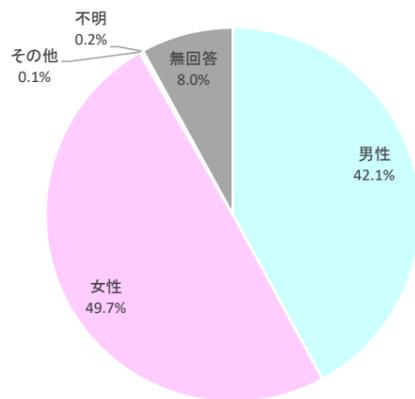
⑨運転免許保有状況



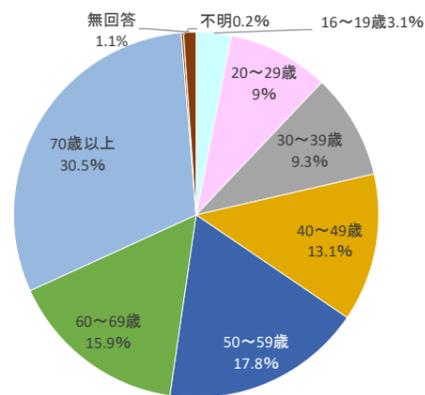
1 回答者の基礎情報

問 1 あなたご自身のことについて

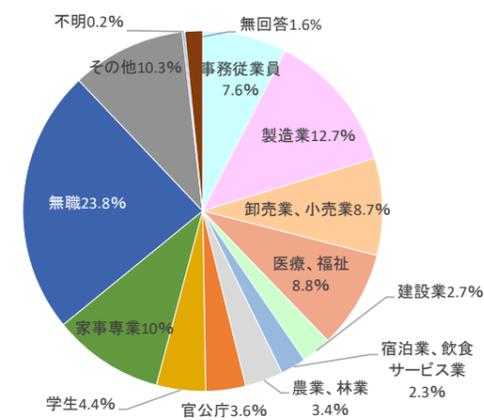
①性別



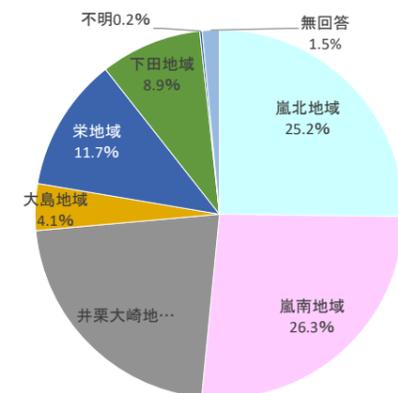
②年齢



③職業



④生活圏域



2 生活行動圏について

問2 行き先と交通手段について

日常的な暮らしに関わる活動の際の移動手段については、いずれの活動も「自家用車」の利用が高くなっており、日常・非日常を問わず、生活には自家用車が不可欠な状況にあることが伺われる。



(ア) 通勤・通学

通勤・通学では、「通勤・通学していない(無職)」が23.3%と最も多く、次いで「市外(県内)」が21.1%、「嵐北地域」が13.8%となっている。また、鉄道は比較的学生の利用割合が高く、デマンド交通やタクシーの利用はほとんどが高齢者となっている。

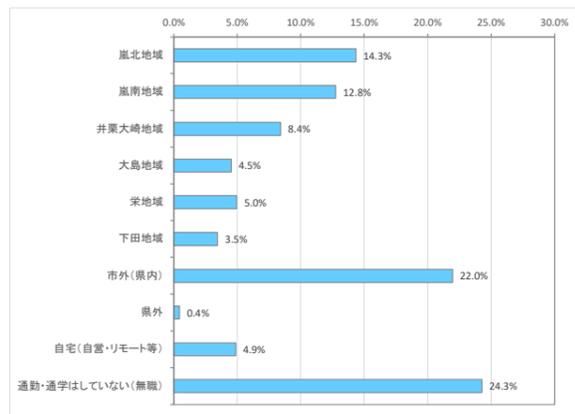


図. 交通手段の年齢別割合

(イ) 食料品・日用品などの買物

市全体では、「嵐北地域」が34.9%と最も多く、次いで「嵐南地域」が34.4%、「井栗大崎地域」が12.7%となっている。各生活圏域における食料品・日用品などの買物の行き先は、同地域内または近隣地域となっている。

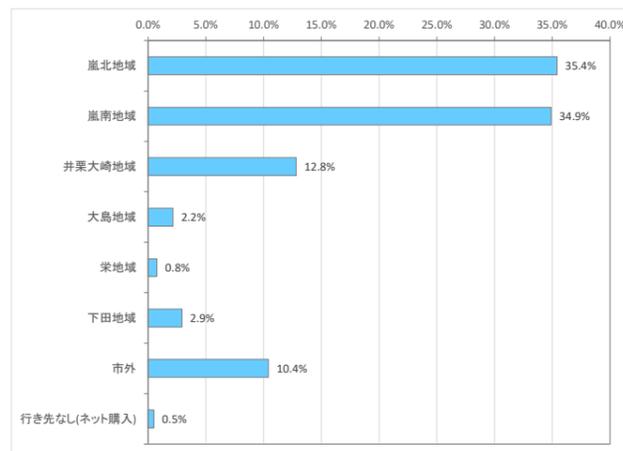


図. 生活圏域と行き先

(ウ) 衣料品や贈答品などの買物

市全体では、「市外(県内)」が32.8%と最も多く、次いで「嵐北地域」30.1%、「嵐南地域」が16.4%となっている。各生活圏域における衣料品や贈答品などの買物の行き先は、いずれの地域も嵐北または市外となっている。

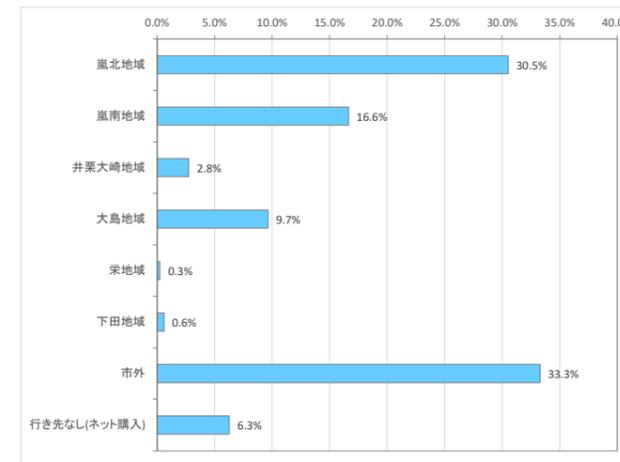
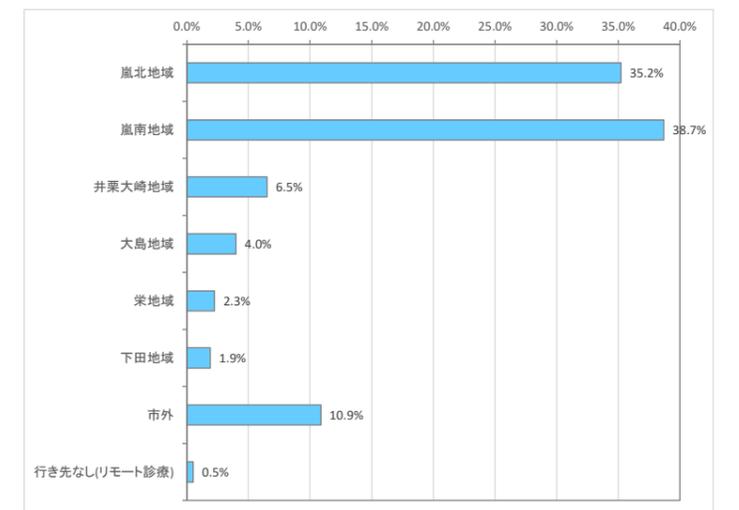


図. 生活圏域と行き先

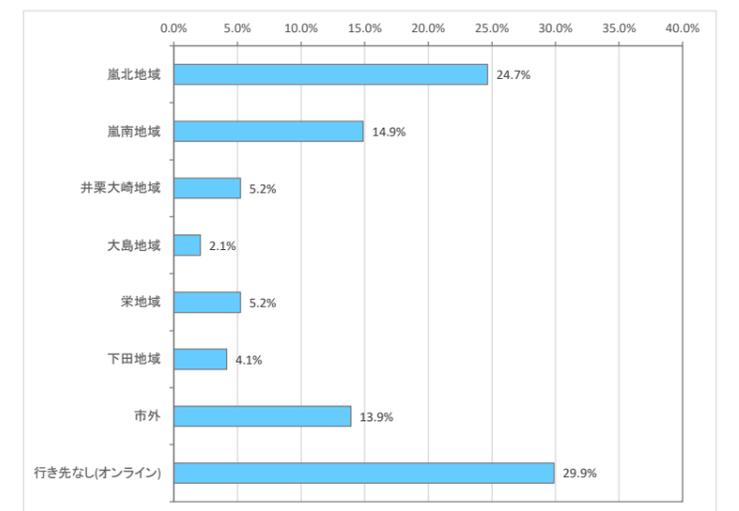
(エ) 病院、医院など医者にかかるとき

市全体では、「嵐南地域」が37.8%と最も多く、次いで「嵐北地域」が34.4%、「市外(県内)」が10.6%となっている。



(オ) スポーツ・文化活動(習い事等)

市全体では、「県外」が25.7%と最も多く、次いで「嵐北地域」が21.2%、「嵐南地域」が12.8%となっている。

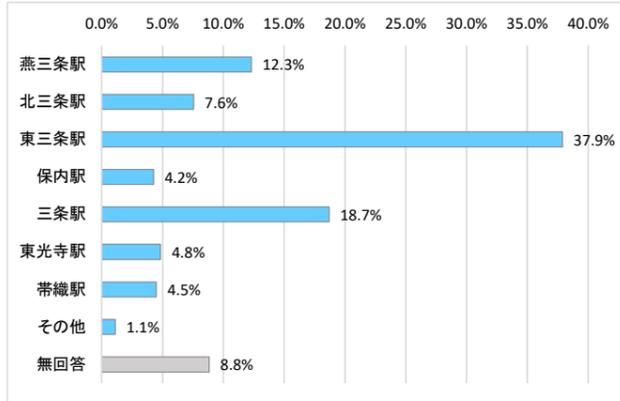


問3 移動手段として鉄道を利用する場合の利用駅とそこまでの交通手段

(ア) 在来線の場合

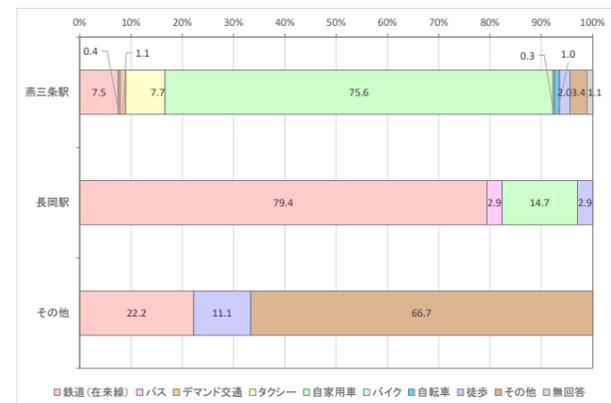
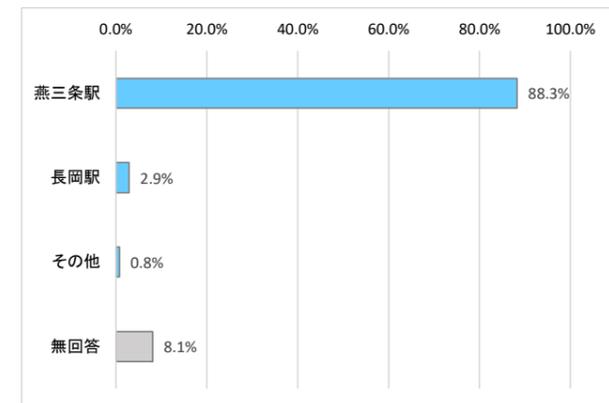
在来線を利用する場合、東三条駅の利用が37.9%と最も多く、次いで三条駅が18.7%、燕三条駅が12.3%となっている。

駅までの利用手段は、東三条駅は自家用車が45.7%と最も高く、次いで徒歩が28.5%となっている。三条駅は徒歩が41.8%と最も高く、次いで自家用車が35.5%となっている。燕三条駅は自家用車が71.0%と最も高く、次いで徒歩が10.3%となっている。



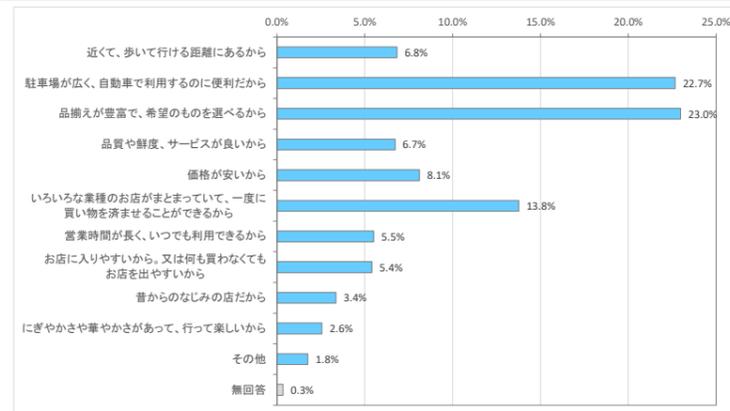
(イ) 新幹線の場合

新幹線を利用する場合、燕三条駅の利用が88.3%と最も多く、ほとんどの人が燕三条駅を利用している。また、駅までの利用手段は、自家用車が75.6%と最も高く、次いでタクシーが7.7%となっている。



問4 問2の(イ)(ウ)の場所で買い物をする理由

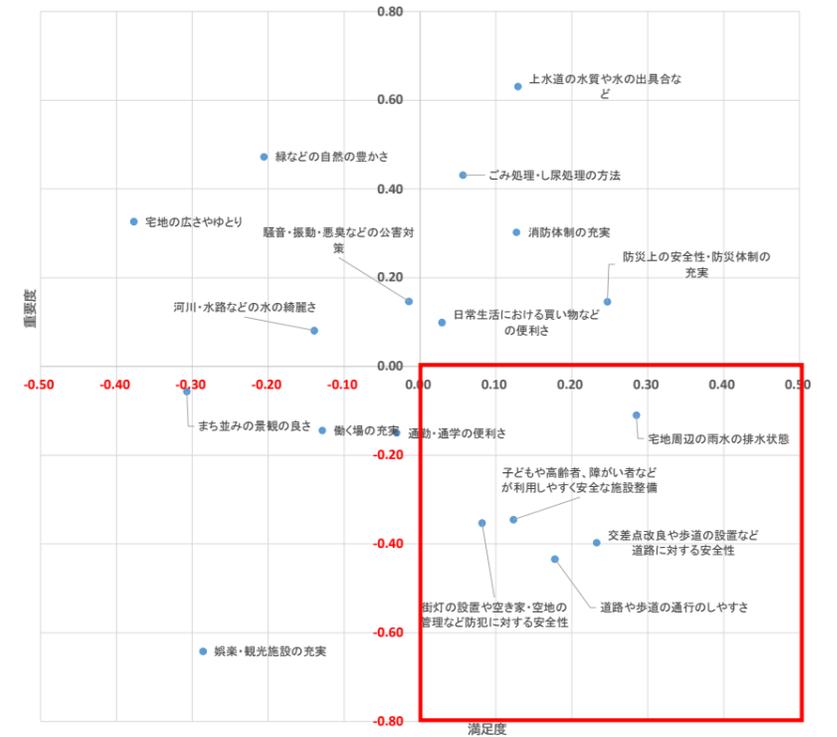
問2の(イ)(ウ)の場所で買い物をする理由は、「品揃えが豊富で、希望のものを選べるから」が23.0%と最も多く、次いで「駐車場が広く、自動車で利用するのに便利だから」が22.7%、「いろいろな業種のお店がまとまっていて、一度に買い物を済ませることができるから」が13.8%となっている。



3 三条市の暮らしやすさについて

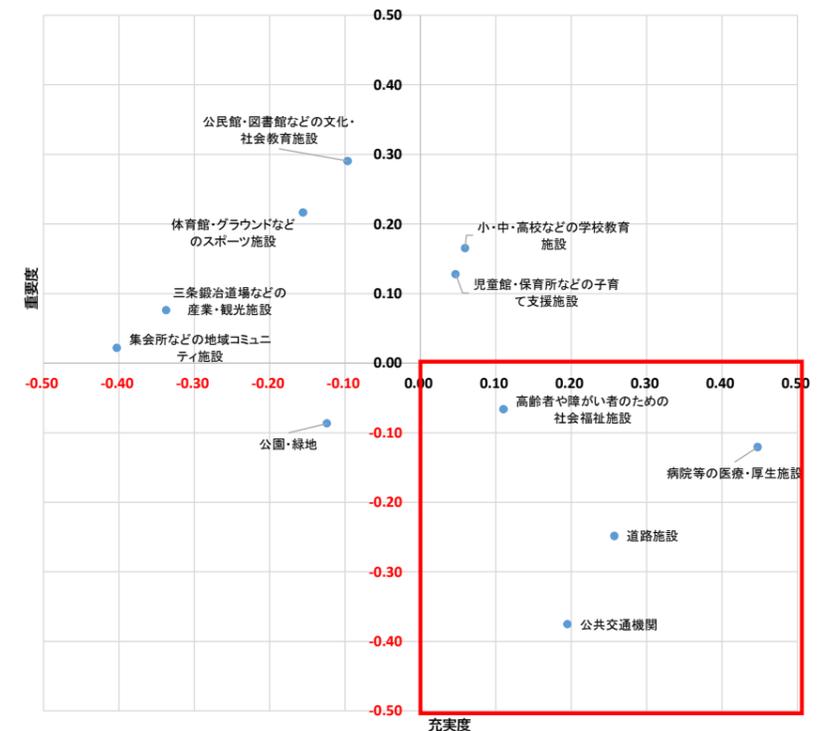
問5 生活環境の「満足度」と「重要度」

生活環境の「満足度」と「重要度」のクロス集計では、優先的に改善すべき項目（満足度が低く、重要度が高い）として、「宅地周辺の雨水の排水状態」、「交差点改良や歩道の設備など道路に対する安全性」、「道路や歩道の通行のしやすさ」、「子どもや高齢者、障がい者などが利用しやすく安全な施設整備」、「街灯の設置や空き家・空地の管理など防犯に対する安全」が含まれている。



問6 公共施設の「充実度」と「重要度」

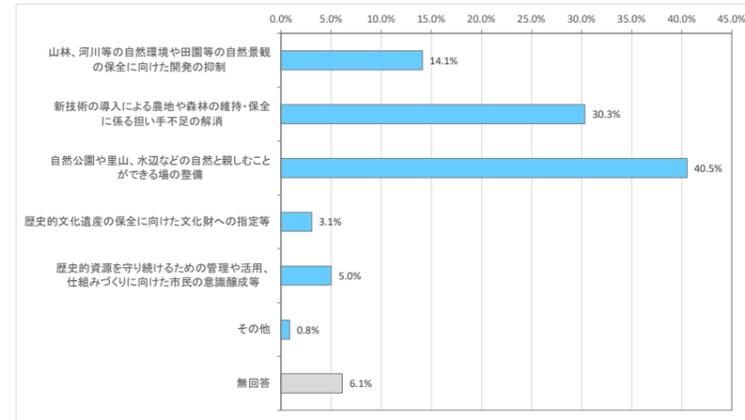
公共施設の「充実度」と「重要度」のクロス集計では、優先的に改善すべき項目（充実度が低く、重要度が高い）として、「病院等の医療・厚生施設」、「道路施設」、「公共交通機関」、「高齢者や障がい者のための社会福祉施設」が含まれている。



4 都市づくりの理念について

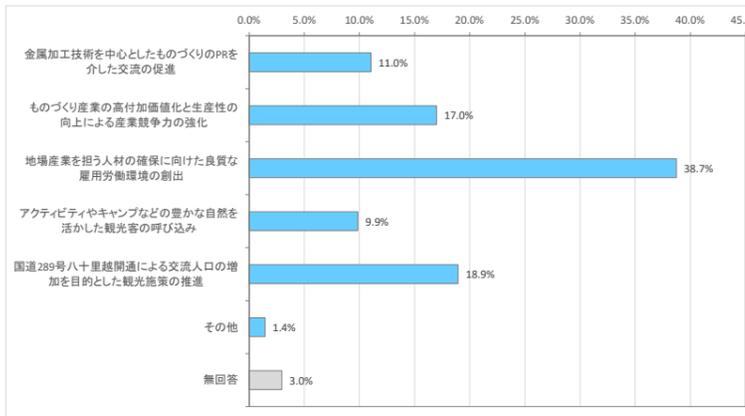
問7 「1. 地域の風土を活かした都市づくり」に向けて重要なこと

「1. 地域の風土を活かした都市づくり」に向けて重要なことは、「自然公園や里山、水辺などの自然と親しむことができる場の整備」が40.5%と最も高く、次いで「新技術の導入による農地や森林の維持・保全に係る担い手不足の解消」が30.3%、「山林、河川等の自然環境や田園等の自然景観の保全に向けた開発の抑制」が14.1%となっている。



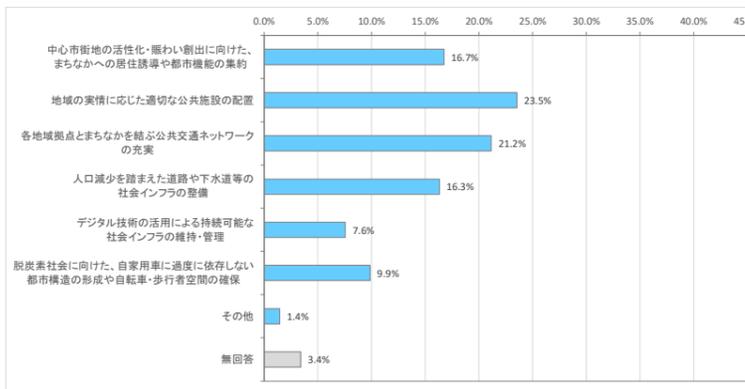
問8 「2. 三条の個性が光る都市づくり」に向けて重要なこと

「2. 三条の個性が光る都市づくり」に向けて重要なことは、「地場産業を担う人材の確保に向けた良質な雇用労働環境の創出」が38.7%と最も高く、次いで「国道289号八十里越開通による交流人口の増加を目的とした観光施策の推進」が18.9%、「ものづくり産業の高付加価値化と生産性の向上による産業競争力の強化」が17.0%となっている。



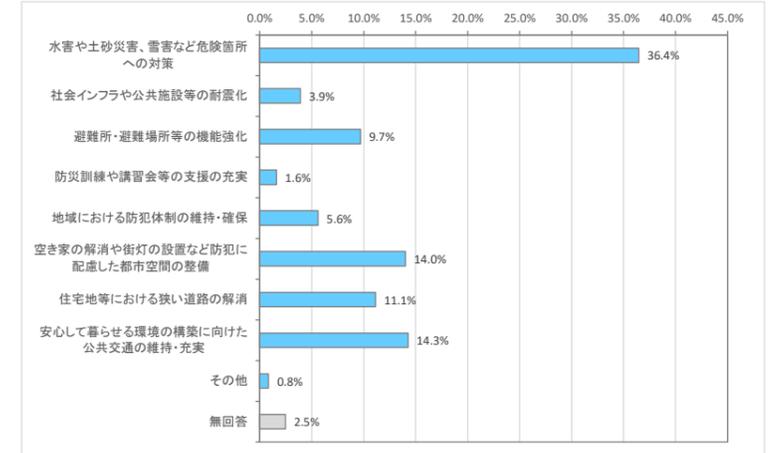
問9 「3. 質が高く機能的な都市づくり」に向けて重要なこと

「3. 質が高く機能的な都市づくり」に向けて重要なことは、「地域の実情に応じた適切な公共施設の配置」が23.5%と最も高く、次いで「各地域拠点とまちなかを結ぶ公共交通ネットワークの充実」が21.2%、「中心市街地の活性化・賑わい創出に向けた、まちなかへの居住誘導や都市機能の集約」が16.7%となっている。



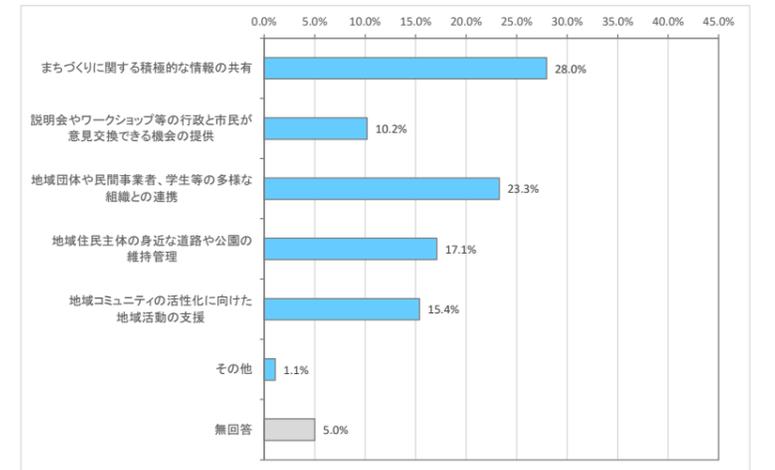
問10 「4. 災害に強く住みよい都市づくり」に向けて重要なこと

「4. 災害に強く住みよい都市づくり」に向けて重要なことは、「水害や土砂災害、雪害など危険箇所への対策」が36.4%と最も高く、次いで「安心して暮らせる環境の構築に向けた公共交通の維持・充実」が14.3%、「空き家の解消や街灯の設置など防犯に配慮した都市空間の整備」が14.0%となっている。



問11 「5. 市民とともにある都市づくり」に向けて重要なこと

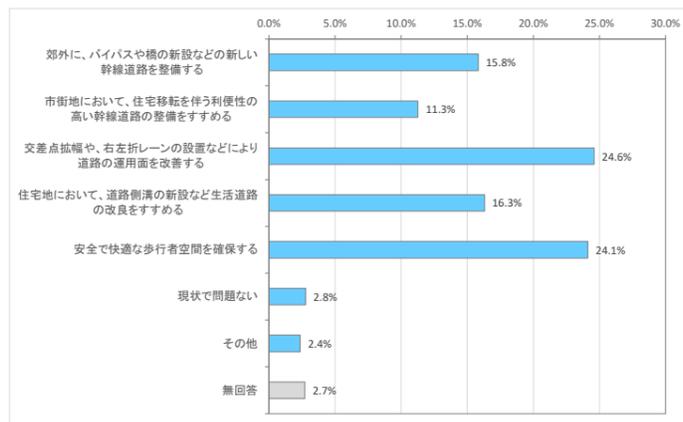
「5. 市民とともにある都市づくり」に向けて重要なことは、「まちづくりに関する積極的な情報の共有」が28.0%と最も高く、次いで「地域団体や民間事業者、学生等の多様な組織との連携」が23.3%、「地域住民主体の身近な道路や公園の維持管理」が17.1%となっている。



5 目指すべきまちの姿について

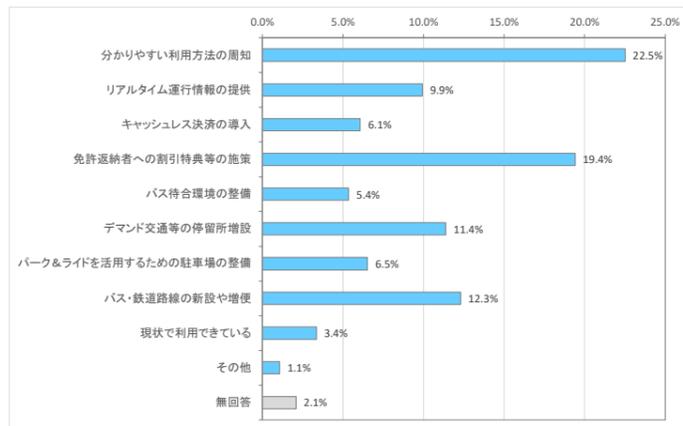
問12 市内の道路交通について

市内の道路交通についてよりよい道路環境を目指すために必要なことはどんなことだと思うかについて、「交差点拡幅や、右左折レーンの設置などにより道路の運用面を改善する」が24.6%と最も高く、次いで「安全で快適な歩行者空間を確保する」が24.1%、「住宅地において、道路側溝の新設など生活道路の改良をすすめる」が16.3%となっている。



問13 市内の公共交通機関について

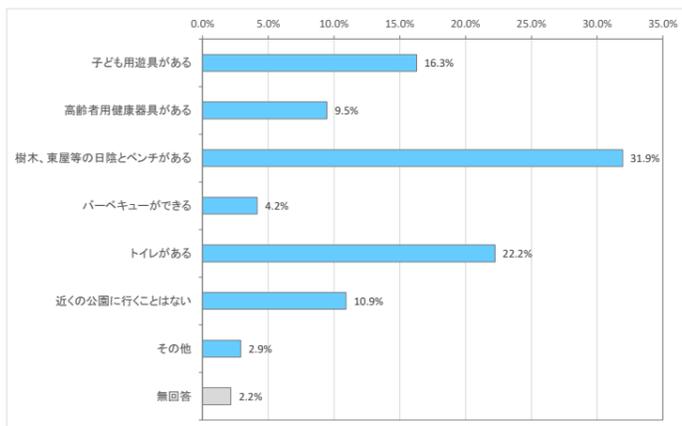
市内の公共交通機関について、どのような施策があれば利用したいと思うかについては、「分かりやすい利用方法の周知」が22.5%と最も高く、次いで「免許返納者への割引特典等の施策」が19.4%、「バス・鉄道路線の新設や増便」が12.3%となっている。



問14 市内の公園について

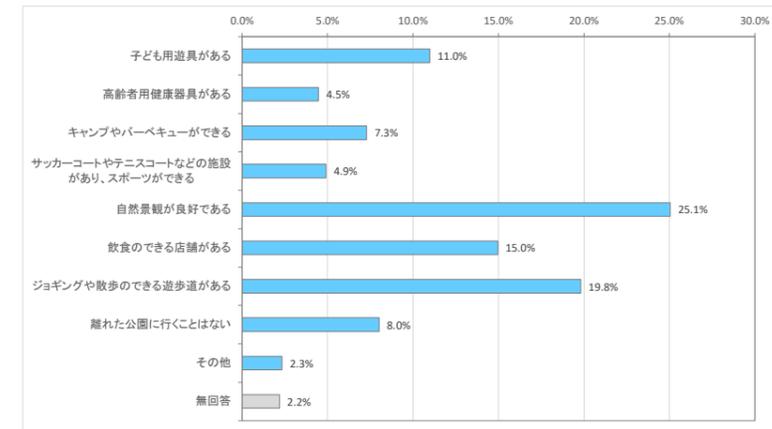
(ア) 徒歩5分程度で行くような身近にある小規模な公園

市内の公園について、どのような施策があれば利用したいと思うかについては、「樹木、東屋等の日陰とベンチがある」が31.9%と最も高く、次いで「トイレがある」が22.2%、「子ども用遊具がある」が16.3%となっている。



(イ) 自転車や自家用車で行くような離れた公園

市内の公園について、どのような施策があれば利用したいと思うかについては、「自然景観が良好である」が25.1%と最も高く、次いで「ジョギングや散歩のできる遊歩道がある」が19.8%、「飲食のできる店舗がある」が15.0%となっている。



6 自由回答（主な意見）

※回答の多い順に記載

- ・公共交通機関の充実。バス停・バス時刻を見直してほしい（バスと電車の時間が合わない）。
- ・道路の渋滞を緩和・解消してほしい。
- ・道路の補修をしてほしい（穴、段差、き裂等）。
- ・豪雨の際によく冠水するので、排水設備を改善してほしい。
- ・全天候型の施設を整備してほしい。
- ・悪臭がひどいため、下水道の普及を促進してほしい。
- ・通学路に歩道がない箇所が多く、歩道を整備してほしい。
- ・道路が狭く、道路の拡幅をしてほしい（車のすれ違いが困難）。
- ・車がないと生活できないため、自動車免許返納後の生活が不安。
- ・少子化対策・子育てしやすい環境づくりをしてほしい。
- ・信号を見直してほしい（右折信号や歩行者信号を設置してほしい箇所あり）。
- ・除雪対策を充実させてほしい。
- ・選択と集中によるまちづくりを進めるべき。
- ・夜間の道がとても暗いため、街灯を設置してほしい。
- ・駅周辺の駐車場の少ない。
- ・観光地となる施設を充実させてほしい。
- ・引き続き、災害に強いまちづくりを進めてほしい。
- ・交通マナーの悪さに対する意識改革が必要。
- ・幅広い種類の店舗が集約した買い物施設があると嬉しい。
- ・駅の周辺が不便。
- ・まちづくりに参加しやすい仕組みづくりをしてほしい。